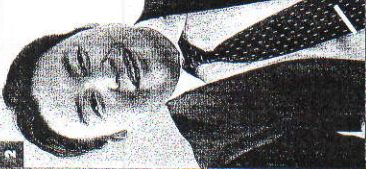


Jonesu SL Tairiku

「八国山アイランド (Hachijima Island)」の総務人であり、インターリンクのセカンドライフ事業を担ってきた宮田 三恵子(みやの けいこ)さんは、この日の進行役。セカンドライフ内の「船中・防災カフェ」に集まった参加者たちの意見をキャッチして受け、リアルとバーチャル

のつなぎ役として大活躍する様子は、小説の中の「グリア」のイメージのままだ。  
**高橋**さんが執筆する新編事業部は、新しいアプリケーションやネットビジネスにどんどんチャレンジしていく部門だ。おととしの10月、高橋さんと事業部の中島部長の2人は、多言語SNSの立ち上げを準備するため中国に滞在していた。「小説とまったく同じく、社長の思いつきから飛ばされた」と話す中島部長。女アバターになって男性に恋をされたり、社内のデスクの前で寝落ちしたり、といった若手の脚色部分(せ)はさておき、本人も地で広島部長をいく、明るく前向きな人柄である。プロジェクトが失敗に終わり、12月に2人は愛方にくれ日本に帰国した。「2人とも暗く落ち込みながらも、肌が残っているかも知れない。ボーナス査定も数々の評価だ

セカンドライフを担う社会貢献活動に携わっている、株式会社インターリンクの事業部の初任給担当、中島部長(左)と高橋さん(右)。  
宮田三恵子(みやの けいこ)さん、新編事業部の竹内麻朗(たけうち まろん)さん



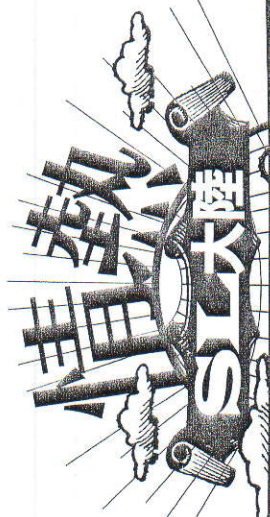
## グリアの夢 セカンドライフでの社会貢献活動

株式会社インターリンク 新規事業部、高橋菜生氏

セカンドライフを担っての社会貢献活動も盛んになってきた。その中で自然保護活動から、赤い羽根募金、ウミガメ保護、支援を行っているのが株式会社インターリンクだ。その活動の中心となっていた「グリア」こと glia Winklerさんに焦点を当てた。

リアルとバーチャルのつなぎ役「グリア」  
**今** 高橋菜生(たかはし なまき)さんは、社員約80人のインターネット企業で新規事業を任される立場にある。プロジェクトは失敗し、北京から帰ってきたときには、今度はセカンドライフ相手を言い渡されるグリア。いつも着抜いたアイデアを掲げかける社員の一言に響きあられつつ、上司の広島親業の下、無断業離しながら「セカンドライフ」という未知の世界で、個人として働きながら、会社の関わり方としての可能性を見出していく。こんなストーリー展開でSLの新しい一面を見せられたのが、昨年発表された小説「グリア」の夢である。この小説は、株式会社インターリンクのセカンドライフ事業の標準を草創したストーリー立てられたもので、同社に働き出す新編課生きたことが、主役の高橋菜生と地で行くその人である。

2008年1月19日、東京丸の内で行われた内閣府防災担当が実施する「防災とボランティア



文: Chizuy Dilley 写真: 高橋菜生